

令和 4年度予算見積調書

課室名：少子政策課
 担当名：施設運営・人材確保担当
 内線：3330 (単位：千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
B131	安心・元気！保育サービス支援事業費		一般会計	民生費	児童福祉費	児童福祉総務費	保育所地域子育て支援事業費	
事業期間	平成15年度～	根拠法令	安心・元気！保育サービス支援事業費補助金実施要綱 安心・元気！保育サービス支援事業費補助金交付要綱		針路	04 子育てに希望が持てる社会の実現	SDGsゴール	4
					分野施策	0402 子育て支援の充実	SDGsターゲット	4-1, 4-2
1 事業概要			5 事業説明					
保育所において低年齢児や障害児の受入れや一歳児保育を手厚く行うための保育士加配に伴う経費を助成する。 (1) 低年齢児保育促進事業費 1,031,770千円 (2) 障害児保育事業費 59,280千円			(1) 事業内容 保育所において低年齢児や障害児の受入れや一歳児保育を手厚く行うための保育士加配に伴う経費を助成することで、職員の処遇改善及び児童の健全育成を図ることを目的とする。 ア 低年齢児保育促進事業費 (ア) 一歳児担当保育士雇用費 8,025人(補助単価：月額20,000円) 962,890千円 一歳児の担当保育士を県が定める配置基準(保育士:1歳児=1:4)まで加配する場合の経費を補助する。 (イ) 乳児途中入所促進事業費 1,722人(補助単価：月額80,000円(上限：年額882,000円)) 68,880千円 乳児の年度途中入所を円滑に進めるため、年度当初から乳児保育担当保育士を雇用している場合に、年度当初3か月分の雇用費を補助する。 イ 障害児保育事業費 247人(補助単価：月額40,000円) 59,280千円 中軽度の障害児3人につき1人以上の保育士を加配するための人件費を補助する。 (2) 事業計画 埼玉県子育て応援行動計画を効果的に推進するため、職員の処遇改善及び児童の健全育成を引き続き図っていく。 (3) 事業効果 低年齢児や障害児の受入れや保育士加配を支援することで保育の質が向上し、安心して子育てができる環境が整備される。					
2 事業主体及び負担区分								
市町村(県1/2) 市町村1/2								
3 地方財政措置の状況								
なし								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員								
9,500千円×0.3人=2,850千円								
予算額			財源内訳				一般財源	前年との対比
決定額	1,091,050						1,091,050	△55,830
前年額	1,146,880						1,146,880	